



## ★ 用途

- ・果樹、野菜、花、庭木等の消毒

## ★ 特徴

- ・軽量化設計されていますので、扱い易くなっています。
- ・握り元を回すことにより、『止』～『広角噴霧』～『直射』まで噴角調整できますので、遠近の調節散布が簡単にできます。
- ・噴頭部に角度がついていますので、葉裏散布が容易にできます。

## ★ 仕様

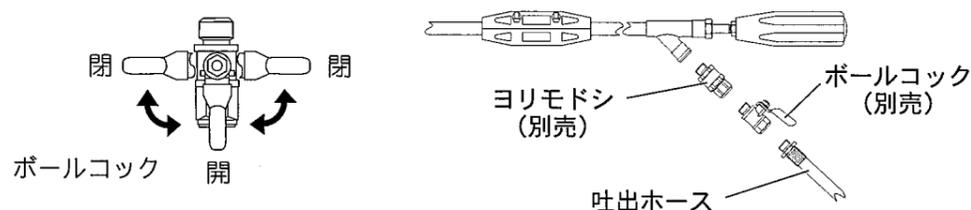
圧力 (MPa)	吐出量 (ℓ/min)			噴角 (度) (2.0MPa)	到達距離 (m) (直2.0MPa)
	1.5	2.0	2.5		
噴板 φ1.8	噴霧開	4.8	5.0	5~55	8
	噴霧直	6.6	7.7		
全長 (cm)	91				
質量 (g)	590				
耐圧力 (MPa)	4.9				
接続ネジ	G1/4				

※上記の値は、当社テスト値であり、保証値ではありません。使用条件、状況等により、変わることがあります。  
※改良のため、予告無く仕様を変更することがあります。

## ★ 使用方法

### 1. 取付方法

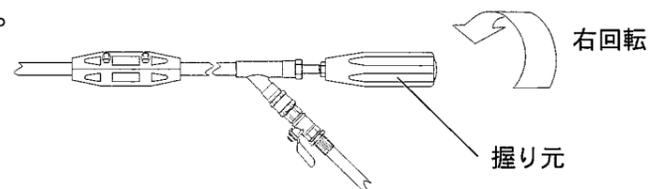
本製品に動噴からの吐出ホースを確実に取り付けてください。また、噴霧の緊急停止等の安全使用のためにボールコック（別売）と、ホースのねじれ及び接続部のゆるみ防止のためにヨリモドシ（別売）を使用してください。



### 2. 作業方法

⚠ 作業前に接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、磨耗、破損がないこと等、各部に異常がないことを確認してください。

⚠ 噴口を散布状態のまま送液すると、突然薬液が出て危険です。吐出ホース先のボールコック（別売）を閉じ、握り元を右いっぱい回し、『閉』の状態にしてから薬液を送ってください。



・吐出ホース先のボールコック（別売）を開き、握り元を徐々に左に回してください。まず、霧が開いた状態で出ます。その後更に左に回すと、霧の開く角度が狭くなり、直射になります。好みの霧の状態散布してください。

⚠ 散布する時は、周囲の状況を充分確認してください。作業中以外は、ボールコック（別売）及び握り元を『閉』の状態にしておいてください。

⚠ 農薬の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。

⚠ 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに医師の診察を受けてください。

⚠ 作業中に噴口を清掃、または、交換する場合は、顔面などに薬液がかかるおそれがありますので、動噴の調圧弁の圧力設定をゼロにしてから止め、動噴の吐出コックを閉じる等、ホースから薬液が出ないように注意して行ってください。

## ★ 使用後の手入れ

### 1. 噴口を外す時

⚠ 吐出ホース内に圧力が残っていると、薬液が噴出します。噴口を下に向け、握り元を散布位置にして、吐出ホース内に残っている圧力を抜いてから外してください。

### 2. 各部の洗浄

・噴口内に清水を送水して洗浄後、水抜きしてください。

⚠ 余った薬液及び機械の洗浄水は、河川、水源地、下水等に流入して被害をおよぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。

### 3. 保管の仕方

⚠ 使用後は充分洗浄し、屋内の直射日光が当たらず、風通しの良い、子供の手の届かない場所に保管してください。

## ★ 故障と対策

現象	原因	処置
霧が均一でない	ゴミつまり	噴板を洗浄する
	噴板の減り	噴板を交換する
霧が荒い	動噴の吐出量不足	動噴の圧力を上げる
	噴板の減り	噴板を交換する
パッキン押し部からの水漏れ	パッキン押しの締め込み不足	パッキン押しを締め込む
	ゴムブッシュの磨耗	ゴムブッシュを交換する

⚠ 薬液が噴出することがありますので、噴板等の洗浄は、噴口及び吐出ホース内の残圧を抜いて、顔から離して行ってください。